感動いっぱい　夢いっぱい

平成29年12月22日　No.29

２学期も今日で終わりです。夏の暑さが残っている９月から，吐く息が白くなる１２月までの長い学期でした。

多くの行事がありました。海の学習・修学旅行・山の学習・陸上記録会・学校保健委員会・・・中でも，柳小２９名全員が力を合わせて発表した，学校音楽祭・ふなお音楽祭・学芸会は，特に心に残っています。

行事ごとに皆さんは経験を積み成長をすることができました。それに向けて練習することで，努力することの大切さを学びました。友だちのやさしさや頼もしさとともに，協力し合ったからこそ得る充実感も大きかったのではないでしょうか。

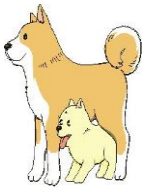
２９人のチームワーク

第２学期終業式　　１２月２２日（金）

みなさんの姿を思い浮かべながら「あゆみ」を読みました。勉強でもスポーツでも行事でも，友だちと一緒によくがんばりましたね。

「あゆみ」にどの先生もよく書かれていることは，例えば「漢字練習を毎日繰り返したので，正しく漢字が書けるようになりました。」　『努力』したから漢字を書く力が身に付いたのですね。また，「友だちと教え合いながらセリフや動作の練習をしたので，本番では見事に演じることができました。」　友だちと『協力』し合ったから力を伸ばし合うことができたのですね。友だちと仲よくできたこと，こつこつとがんばることができたことが，うれしいことです。

昨日は**「盲導犬キャラバン」**の方が来て下さり，盲導犬についてみんなで学習することができました。盲導犬になるために，生後２ヶ月から約１年間「パピーウォーカー」と呼ばれる家族の中で，やさしさと愛情に包まれながら暮らすこと，その後の訓練センターでは，目の不自由な人を安全に誘導できるように，訓練を受けることを知りました。考えてみれば成長していく過程は，私たちと似ていますね。訓練が日々の努力だとしたら，パピーウォーカーの家族の愛情に包まれて暮らすことは，友だちと仲よくすることなのですね。どちらも一番に大切なことなのです。



明日から，１７日間の冬休みに入ります。年末年始お家の方は忙しいので，お手伝いをしっかりして下さい。

１月９日に，元気なみなさんに会えるのを楽しみにしています。

２がっき　がんばったことは　２つあります。

がくげいかいのげきで，ぎんかくのやくを　がんばりました。せりふを大きなこえで　いいました。おどりもじょうずに　できました。

はじめての　がくげいかいは，ちょっと　どきどきしたけど　たのしかったです。

（１ねん　A・A）

２学期をふりかえって，わたしは，たくさんのことをがんばりました。

勉強では，とくに算数をがんばりました。前までは，むずかしい問題があると，すぐにむりだと思っていたけど，よく考えるようになりました。すると，できるようになってきました。今では，算数だけでなく，他の勉強も楽しいです。これからも，むずかしい勉強もあきらめずに楽しく勉強したいです。

あと行事では，学芸会をがんばりました。中・高学年で『エルコスの祈り』のげきをしました。たくさんあったセリフを覚えたり，動きや表情を考えたりしながら練習しました。一生けんめい練習をがんばったから，本番ではよい学芸会となりました。

３学期も，と中であきらめないで，最後までがんばって，もっといろいろなことができるようになりたいです。　（３年　M・R）

突然ですがクイズです。私が好きな教科は何でしょう。１番図工・２番算数・３番体育・・・正解は２番の算数です。

私はずっと算数が一番苦手な教科でした。計算ミスばかりしていたからです。しかし，自主勉で算数の予習をするようにしたら，授業中もよく分かり，速く計算できた分，見直しをすることができるようになりました。努力することで，自分のできなかったこともどんどんできるようになってきました。苦手なことからも逃げずに，挑戦することが大切だと感じた２学期でした。

最後にもう一度クイズです。私がまだ苦手な教科は何でしょう。１番国語，２番社会，３番理科・・・正解は全部です。だから，残りの３ヶ月でできる限り努力して，勉強がもっともっとできるようになりたいです。（６年　K・I）

しめ縄飾り作り　　１２月１６日（土）

今年も，**「しめ縄飾り作り」**が行われました。田植え・青田刈り・乾燥・うらじろ採り・・・と，福祉協議会の方が中心となり，全て準備をして下さいました。ありがとうございました。お正月には，手作りのお飾りを玄関に飾ることができます。　**「来年もよい１年になりますように！」**

サポートの方・地域の方に教えてもらいながら作っていきました。

できた！

後は，おいしい**ぜんざい**がまっていました。**「おかわり！」**　　***作って，食べて，遊んで，***楽しい１日でした。

盲導犬キャラバン　　１２月２１日（木）

盲導犬のことを実際に見て理解すること，目に障がいをもっている人の認識を深めることを目標に，**「盲導犬学校キャラバン」**の方のお話を聞きました。

「日本では目に障がいをもっている人は？」*「約３６万人」*　「それでは，盲導犬の数は？」*「１０００頭」*　「どうやって盲導犬になっていくの？」*「誕生→パピーウォカーと暮らす→基本訓練・誘導訓練→盲導犬デビューですが，向いていない犬もいることから，実際に盲導犬になれるのは訓練を受けた犬の中で３割ぐらいです。」*

盲導犬になるまでの期間の長さや大変さ，盲導犬のロッシー（ラブラドールレトリバー）のかわいさと賢さに，子ども達は興奮状態でした。また，実際にアイマスクをつけてロッシーと一緒に歩くことで，目に障がいがある人にとって，盲導犬はとても大切な存在であることを知ることができました。

「ロッシーといっしょでも，歩くのはこわかった。」というのが，４人の代表の感想でした。一緒に歩いている方は，盲導犬のできることと人ができることを，理解し合い助け合いながら，歩行しているのですね。盲導犬と一緒の人を見かけたら，私たちに何ができるのでしょうか。

来賓玄関には，１年中きれいな花が生けてありました。評議員の横溝さん，本当にありがとうございました。

平成２９年も，奨学会の方，地域の方のご協力あっての柳井原小学校でした。その中で，子ども達がすくすく成長できたことをうれしく思います。

平成３０年も，「学校」「家庭」「地域」が三位一体となって歩んでいくことができますように願っています。

よいお年をおむかえください。

柳小が一番！